

令和3年度 学校評価(年度末)

斜体は保護者アンケート

(A:よくあてはまる B:あてはまる C:あてはまらない D:全くあてはまらない)

領域	項目	評価の観点	内部評価(%)				保護者(%)			
			A	B	C	D	A	B	C	D
思いやる子	生徒指導	① <u>あいさつをはじめ、姿勢や持ち物など、くらしや学習の基盤となる基本的な生活習慣の定着を図った。</u> <u>お子さんは、よくあいさつや返事ができていますか。</u>	25	67	8	0	30	58	13	0
		② <u>人間的なふれあいをもとにして、自尊感情を育み、思いを出し合い集団を高める学級づくりを行った。</u> <u>お子さんは、姿勢を保つこと、活動の準備や片づけがきちんとできること等、基本的な生活習慣が身についていますか。</u>	25	75	0	0	30	38	25	0
		③ <u>受容的な態度で一人一人の児童に接し共感的理解に努めるとともに、情報交換の場の設定などを通じて問題行動の未然防止と問題発生時の迅速な対応を図った。</u> <u>お子さんは、自分や友だちを大切にしながら仲良く過ごしていますか。</u> <u>お子さんは、楽しく学校に通っていますか。</u>	25	75	0	0	48	48	5	0
	人権教育 道徳教育	④ <u>人権教育をあらゆる教育活動に位置づけ、全体計画や各領域の年間指導計画を作成し、人権教育を総合的に推進した。</u>	17	83	0	0				
		⑤ <u>各教科・道徳・総合的な学習の時間・特別活動において、差別や偏見に気づかせるとともに、それらを解消するための実践力を育成した。</u> <u>また、いじめの未然防止と早期発見に努めた。</u>	33	67	0	0				
	特別支援教育	⑥ <u>一人一人の教育的ニーズに対応した支援の工夫、また、合理的配慮を行った。</u>	8	92	0	0				
元気な子	保健・安全	⑦ <u>保健・安全に関する学級指導や保健・安全の学習を通じて、<u>早寝・早起きを基調とした児童の健康増進、病気の予防、けがの防止等に努めた。</u></u> <u>お子さんは、早寝早起きを習慣化し、健康や安全に気をつけて過ごしていますか。</u>	17	83	0	0	60	25	15	0
	体力促進	⑧ <u>毎日のサーキットの継続や芝生の活用により、児童の体力向上に努めた。</u> <u>お子さんは、よく身体を動かして活動的に過ごしていますか。</u>	58	42	0	0	60	30	8	3
	食育	⑨ <u>日々の給食指導とともに、家庭科、総合的な学習の時間、生活科などの学習を通じて、食育を推進した。</u> <u>お子さんは、好き嫌いなく食事をしていますか。</u>	25	67	8	0	48	23	25	5
考える子	学習指導	⑩ <u>学習規律を大切にして一人一人の実態に応じた指導を導入し、基礎基本の定着とともに児童が自ら考え、意欲的に活動する「分かる・楽しい授業」づくりをめざした。</u> <u>お子さんは、宿題は理解して取り組んでいますか。</u> <u>お子さんは、できたことわかったことを素直に喜んでいますか。</u>	17	83	0	0	48	48	3	3
		⑪ <u>感動体験をもとに伝えようとする意欲を高める工夫をするとともに、授業や各行事の中で伝え合う場の設定をすることによって、表現力を育成した。</u> <u>お子さんは、自分の思いや考えをわかりやすく伝えようとしていますか。</u>	17	83	0	0	45	43	13	0
	読書指導	⑫ <u>矢野川中学校区の学校園所の共通理解のもと、家庭やボランティアとの連携を図りながら、「自ら本を手に取り読書する子」を育成した。</u> <u>お子さんは、読書が好きですか。</u>	17	83	8	0	43	20	35	0
	体験学習	⑬ <u>農業体験学習や地域教材学習の充実に努め、判断力や表現力、問題解決力、人間関係の力などを育成した。</u>	25	75	0	0				
	キャリア教育	⑭ <u>今の活動が将来につながることを意識させ、社会(集団)に関わり、自らを向上させようとする意欲を持たせた。</u> <u>お子さんは、学習したことを役立てようとする意欲を持っていますか。</u>	17	75	0	0	58	33	8	3
		⑮ <u>農業体験や地域教材学習を教育課程に位置づけ、地域と連携した特色ある学校づくりを推進した。</u> <u>矢野小学校は地域の特色を活用し、地域に根ざした教育活動を推進していますか。</u>	25	75	0	0	70	25	5	0
信頼される学校	情報提供	⑯ <u>保護者個々との情報交換を大切にするとともに、学校だより、学級だより、学校ホームページなどにより、保護者や地域住民に学校の情報を積極的に提供した。</u> <u>担任からの連絡をはじめ、学級だより・学校だより等を通して、学校からの情報はわかりやすく伝わっていますか。</u>	25	75	0	0	55	40	5	0
	教職員の資質向上	⑰ <u>校内研修や教職員の研修に目的意識を持って取り組み、教職員の資質が向上した。</u>	0	100	0	0				
	連携教育	⑱ <u>地域や保護者の意向やニーズを把握し、保幼小中連携や合同授業などに、積極的に取り組んだ。</u> <u>オープンスクールや参観日などの学校行事に参加しやすいですか。</u> <u>保・幼・小・中の連携・一貫教育をめざす合同授業などの取り組みはわかりやすいですか。</u>	8	92	0	0				
		⑲ <u>校舎や施設の修繕、教育備品や教育用消耗品の整備等が行われ、児童が気持ちよく学ぶ物理的環境が整っている。</u> <u>校舎内外の施設や環境などは、安全で快適ですか。</u>	0	75	25	0	33	63	5	0
教育環境	学校の雰囲気	⑳ <u>学校全体に活気があり、明るく楽しい雰囲気である。</u>	25	67	8	0				

令和3年度 学校評価(年度末)

令和3年度学校評価 考察

- ・ 本校児童は落ち着いて学校生活を送ることができている。昨年度から、気持ちの良いあいさつができるように意識して声かけをおこなっている。また、毎朝、教師が校門に立ったり、検温チェックをしながらあいさつをしたりして気持ちよく一日が始められるようにしている。しかし、まだ、声が小さかったり自分からあいさつをすることができなかつたりする児童もいる。学校だけではなく家庭とも連携していけるような取り組みを考えていきたい。
- ・ 保護者アンケートの結果から、基本的な生活習慣が身につけていないと感じている保護者が多いことがわかる。家庭と連携しながらあいさつだけでなく活動の準備・片付け等もふくめて基本的な生活習慣が身につくよう取り組む必要がある。
- ・ 友だちのよいところや頑張っているところを見つけて手紙を書く活動(ほっこり広場)を継続して行っている。学年で一斉に取り組んだり、教師からも手紙を書いたりしてマンネリにならないようにしている。また、児童の作品を掲示するなど環境を整えることで、明るい雰囲気作りだけでなく、自分や相手を知り、大切にすることを育てていきたい。

【元気な子】

- ・ 毎朝、5分間のサーキットの時間を設定し、遊具を使った運動やボール運動、なわとびなど、季節に合わせて体力づくりに取り組んでいる。毎年行っている体力測定の結果を生かしながら内容を工夫し継続させていきたい。
- ・ 昨年度の学校評価の結果から、食育の推進が必要だと考え、今年度は給食の時間だけではなく学級活動の時間も活用しながら取り組んだ。市内栄養教諭の協力も得ながら進めている。今年度の保護者アンケートでも好き嫌いがあると感じている保護者が多いことが分かり、家庭と連携した取り組みとなるよう工夫する必要があると感じた。

【考える子】

- ・ コロナ禍であり、ペアやグループで意見を交流し合う活動ができにくくなっているが、ICT機器を活用し、自分の考えを表したり伝え合ったりする場を設けるように工夫している。また、学習したことを掲示物にまとめたり、発表会形式で他学年児童に伝えたり、リモートで若狭野小学校との合同授業を行ったりすることで、伝えることの喜びを感じたり達成感を感じたりすることができた。保護者アンケートから、学ぶ意欲やできた喜びを感じている児童が多いことがわかる。
- ・ 今年度は毎朝、5分間読書タイムを設定し、本に親しむ時間をつくるようにした。また、各教室に学級文庫を用意していただきいつでも本を手にすることができるようにしている。保護者アンケートからもわかるように読書習慣が身につけている児童とそうでない児童が2極化している。できるだけ多くの児童が本に親しめるようボランティアの方や保護者の協力を得ながら取り組みを考えていきたい。

【学校の取組や環境】

- ・ 今年度は、感染症対策をとりながら合同授業、体験活動にできる限り取り組むようにした。地域の人材を活用しながら農業体験活動など矢野の特色を生かした体験活動を行うことで、主体的な学びにつながっている。しかし、保護者アンケートからこのような活動の意義が保護者に十分に伝わっていないことがわかる。学校だより等を活用するなど保護者に伝えてく必要がある。
- ・ ICTの活用について校内研修を行い、一人一台端末を有効に活用しながら学習活動が行えるように取り組んだ。お互いの実践交流